

発見のコツ！

明日から待ちに待った夏休み。
夏休みの思い出は何ですか？
自由研究？……休みが終わる頃になってバタバタ？
何していいか分かんないし、課題も見つけれない…とか？



1 夏は自由研究もよい

新聞の「子供のうた」に「夏のたのしみ」と題して小5の男の子の作文

夏は虫取りがよい カブトムシ、クワガタムシを捕るのがよい
自分でとった虫を育てるのもよい
夏は自由研究もよい 調べたいこと知りたいこと
自分で研究 知ることが増えて楽しい

夏が来るのが楽しみだ！



2 SSHの取組が最高評価

錦江湾高校のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の取組に対して、文部科学省から最高評価の「S」を受けました。県内初、本校を含め全国でも6校だけです！

先輩たちの取組。たとえば、校舎に侵入してくるヤスデを防ぐ方法を考えた。自分たちで課題を見つけ、その解決方法を考えた。他の取組もみんなとても楽しそうに発表していた。



3 これからは「課題発見力」

与えられた課題を解決する力を「課題解決力」という。
これまではそれだけでよかった。

ところが、これからの社会では、課題は与えられない。
正解のない社会を生きて行くためには自分で課題を見つけないといけない。
課題を発見する力。それを「課題発見力」という。



これからは、「課題発見力」が鍵となる。
自分がやりたい課題さえ見つけられれば、それは課題を解決する「課題解決力」の原動力ともなる。

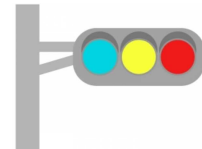
4 課題発見のコツ

みんながよく行くコンビニ。看板が描けますか？
きっとみんな見ているはずなのに…描けない。
見ているようで見ていない。



課題発見のコツは「意識して見る！」。
ネタはみんなの周りにたくさんある。

信号機の赤、青、黄色の3色は左からどのように並んでいる？
左から青、黄、赤。一番大事なものは「止まれ」の赤だから、
一番右にあることで、街路樹などに邪魔されずにすむ。



この体育館に非常口がある。非常口のマークはなぜ緑色？
そんなに目立つ？ところが、火事の際は、火の赤色に対して補色
である緑色を使うことで非常口を目立たせる効果がある。

5 課題解決は「意識しなくても見える」

課題を「発見」したら、次は課題を「解決」。
課題解決は「意識しなくても見える！」コツは「考えて、考えて、考えない！」

なんでだろう？と一生懸命考えて考えて考えると、頭にこびりつく。
あとは不思議に考えなくても頭に残っている。これが「課題意識」。
考えなくても向こうからヒントが勝手に飛び込んでくる。



「赤色、赤色、赤色」と一生懸命考えるだけで、あとは見ようと思わなくて
も赤色の方から勝手に飛び込んでくる。これが「意識しなくても見える」。

駅員が一人一人の切符をチェックしていた。とても時間がかかる。そこで、
切符を通す自動改札機を考えた。ところが、うまくいかない。切符がまっす
ぐ流れてこない。切符が斜めや横向きだと機械が読めない。
困った開発者は気分転換に子どもと川遊びに。そこで見た光景は？

流れてくる葉っぱが石にぶつかりぶつかり向きを変えていた。開発者にはこ
の葉っぱが切符に見えた。これだ！自動改札機の中にローラーを入れて切符
がまっすぐになるようにした。そうして、日本初の自動改札機が完成。

「意識して見る！」と「意識しなくても見える！」。

この2つのコツで、
皆さんの夏が「探究の夏」になることを期待します。



令和2年7月31日